

令和3年度 災害訓練計画

1. 日時

令和4年1月20日(木)10:15～

2. 想定

- ・警固断層を震源地とした震度 5 弱の地震が発生。
- ・キャンパス内の建物には大きな損壊は生じていない。
- ・ライフラインは遮断されていない。

3. 実施内容

①シェイクアウト訓練〔対象:伊都地区の全教職員・全学生〕

- ・エネルギーセンターから、構内一斉放送にて、地震が発生した旨の注意喚起を行う。
 - ・各人はその場で地震から身を守るための 3 つの安全行動(①姿勢を低くする、②体や頭を守る、③揺れが収まるまで動かない)を行う。
- ※密を避けるため避難訓練は行わないが、非常口・消火栓・AED 装置の確認等呼びかけを行う。

②安否応答訓練〔対象:全教職員・全学生〕

- ・本学が導入している安否確認システム(ANPIC)への応答訓練を行う。
 - ・ANPIC から全教職員・全学生に一斉に安否確認メールを送信し、各人は各々の職場、教室等で、PC、スマートフォン、携帯電話等により応答を行う。
- ⇒ 訓練当日 17 時、24 時間後、1/24(月)の応答率データを確認する。

4. 当日のスケジュール

- 10 時 15 分 地震発生 ⇒ 構内一斉放送 ⇒ シェイクアウト訓練
- 10 時 17 分 災害対策本部設置(密を避けるため実際に参集はしない)
- 10 時 20 分 ANPIC 応答訓練開始

} 1 限と 2 限の間の
休み時間に実施

※災害訓練に先立ち、災害への対応に関する基本的知識の習得のため、e-learning システムを活用した e-learning 研修を全教職員・全学生を対象に実施する。

令和3年度 災害訓練

①シェイクアウト訓練について

シェイクアウト訓練とは、地震発生時の安全確保行動を身につける訓練です。日頃滞在している教室や職場で地震が発生した場合を想定し、訓練への参加にご協力をお願いします。

〔対象〕伊都キャンパスの学生・教職員

〔日時〕令和4年1月20日(木)

10:15 構内一斉放送を開始

※訓練のために職場や教室に待機する等、日常行動を制限する必要はありません。

※伊都キャンパス内の以下の建物へ放送が流れます。

イースト1・2号館、中央図書館、共進化社会システムイノベーション施設

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所第1研究棟・第2研究棟、椎木講堂

センター1・2・3・4・5号館、課外活動支援施設1、理系図書館、総合学習プラザ

ウエスト1・2・3・4号館、エネルギーセンター

※ウエスト5号館は大学院入試のため放送は流れません。

●放送例

こちらは、九州大学総務部総務課（危機管理室）です。

これから、令和3年度災害訓練を実施します。

この放送は、訓練です。

ただいま 10:15 ごろ、福岡地方で震度5弱の地震が観測されました。

学生・教職員の皆さまは、体勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで動かないください。

－各自 安全確保行動を実践－

揺れがおさまりました。元の体勢にお戻りください。

〔被害想定〕

- ・警固断層を震源地とした震度5弱の地震が発生。
- ・キャンパス内の建物には大きな損壊は生じていない。
- ・ライフラインは遮断されていない。

〔訓練内容〕

- ・放送が聞こえたら、放送の指示に従い、各自その場で、安全確保行動(まず低く、頭を守り、動かない)を実践してください。

●安全確保行動

①まず低く

強い揺れで転倒してしまう前に、まず体勢を低くして、地面に近づきましょう。

②頭を守り

固定されたデスクやテーブルの下に入り、頭を守りましょう。頭を守るものがないときは、腕や荷物を使って、頭を守りましょう。

③動かない

揺れがおさまるまで動かずじっとしていきましょう。



(提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)

●参考

外出中に地震が発生したら

倒れてくる可能性のあるもの(ビル、木、電柱等)から離れた場所で、安全確保行動を実践しましょう。

運転中に地震が発生したら

周りに何も無い場所に停車し、シートベルトを締めて地震が終わるまでその場で停止しましょう。

[備考]

- ・訓練の実施について、周知徹底にご協力をお願いします。(チラシ参照)
- ・万が一予期せぬ障害等が発生し、構内放送が流れない場合は、訓練を行う必要はありません。

令和3年度 災害訓練

②安否応答訓練について

九州大学安否確認システム(ANPIC)は、災害時等緊急時に大学が学生や教職員の安否状況を把握し、迅速な対応を行うための重要なツールです。当システムの応答率の向上を目指し、以下のとおり、応答訓練を実施します。

〔対象〕全学生、全教職員

〔日時〕令和4年1月20日(木)

10:20 全学生・全教職員等へ一斉に安否確認メールを送信

※全構成員へメール送信が完了するまで数時間要します。

※メール受信のために職場や学校に待機する等日常行動を制限する必要はありません。

※メールが届く際に、Jアラート(全国瞬時警報システム)のような音は鳴りません。

※メールは専用アドレス【九州大学(no-reply@jecc.jp)】から全学基本メールへ届きます。

事前にアプリやライン、携帯メールアドレスを登録している場合は、そちらにも通知が届きます。

※各々の職場、教室、自宅等で「安否確認システム」へ安否を報告してください。

●メール例

件名：【九州大学】(訓練) 安否状況をお知らせください

送信元：【九州大学(no-reply@jecc.jp)】

内容：

九州大学 ○○ ○○ 様

安否状況の報告はこちらから↓

<https://anpic-kyushu-u.jecc.jp/kyushu-u/report/index.cgi?opt=XBUTwwlmFh45>

※これは、安否報告の訓練メールです。

※安否の報告を行ってください。

※応答がない場合は、1月21日(金) 16:00 にリマインドメールを送信します。

1月20日(木) 10:15頃に地震5弱の地震が発生しました。(これは訓練です)

安全な場所に避難し身を守る行動をとり、大学へ安否確認の報告を行ってください。

地震の詳細については以下の通りです。

...

令和4年1月21日(金)

16:00 未応答者へリマインドメールを送信

令和4年1月24日(月)

10:30 部局毎の応答率を算出(後日、役員・部局長会議等で報告)

〔被害想定〕

- ・警固断層を震源地とした震度5弱の地震が発生。
- ・キャンパス内の建物には大きな損壊は生じていないが、一部に火災発生。
- ・ライフラインは遮断されていない。

〔訓練内容〕

安否確認システム(ANPIC)から届いた通知(アプリ、LINE、メール)にてご自身の安否状況を報告してください。

報告内容

- ①安否(無事 / 軽傷 / 重傷 / コメント)
- ②現在地(学内 / 自宅 / 避難所 / その他 / コメント)

〔備考〕

- ・応答率を高めるため、事前にアプリ、LINE、携帯メールを登録するように周知徹底にご協力をお願いします。
- ・万が一予期せぬシステム障害等が発生し、アクセスできない状況等が生じた場合は、それ以降、安否報告を行う必要はありません。

うわっ!
地震やん!

大規模災害時

大学とあなたを迅速に結ぶ



ANPIC

アンピック

必ず
登録を

■まずは初期登録から始めよう〈学生も教職員も必ず登録!〉

<https://anpic-kyushu-u.jecc.jp/kyushu-u/regist/>



ログインID	学生	学生番号
	教職員	ユーザー名(職員基本メールの@より左側の文字と数字) 例: <u>kyudai.taro.123</u> @m.kyushu-u.ac.jp 下線部分がユーザー名

●安否確認システムからのメールは、学生は学生基本メール(学生番号@s.kyushu-u.ac.jp)に、教職員は職員基本メール(ユーザー名@m.kyushu-u.ac.jp)に届きます。

●学生基本メール、職員基本メール

<https://outlook.office.com/kyushu-u.ac.jp>

ログイン ID:SSO-KID
(10桁の数字)

アプリなら
簡単やね!



アプリ



LINE

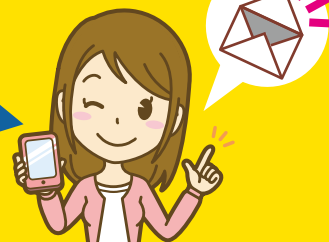


携帯メール

大規模災害時は、学生・職員基本メールがすぐに確認できない場合が想定されます。

そのため、初期設定(本登録)後は、普段スマートフォンを使用している方は、アプリやLINEで通知や報告を行える設定にしてください。

携帯電話のメールアドレスも登録できます。



KYUSHU UNIVERSITY

安否確認システム

Kyushu University Safety Confirmation System (ANPIC)

アンピック
ANPIC



アンピマン

緊急時は
安否報告
せないかん!!

令和3年度 危機管理 e-learning について

危機とは、「災害、テロ、重篤な感染症、重大なインシデント、事件・事故などにより、教職員及び学生の皆さんの生命や身体等に重大な被害が発生し、または発生するおそれのある緊急の事象及び状態」のことを指します。

危機は、いつどこで発生するか分かりません。日頃から、危機に備えておくことが大切です。

今回は、危機の中でも特に「自然災害や事件・事故への対応」をテーマとし、基本的な知識の習得を目的としています。もしものときに備えて、受講をお願いします。

〔対象〕

全教職員及び学生

〔受講期間〕

令和3年12月～令和4年3月31日ですが、令和3年度災害訓練を1月20日(木)に実施予定ですので、それまでに受講いただくとより効果的です。

※未受講者にはリマインドする予定です。

〔受講手順〕

・学生

(1) <https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=2700§ion=30> (九州大学 Moodle) にアクセスして、ログインしてください。

※ログインするためには、全学共通 ID(SSO-KID)とパスワードが必要です。

(2) まず、「教材(PDF形式)」のスライドを確認し、「確認テスト(7問)」を実施してください。

(3) 「確認テスト(7問)」に全問正解すると受講完了となります。

・教職員

(1) 九州大学教職員用 e-learning システム (<https://el.iii.kyushu-u.ac.jp/login/index.php>) にアクセスして、ログインしてください。

※ログインするためには、全学共通 ID(SSO-KID)とパスワードが必要です。

(2) トップページ「履修が必要なコース」の「令和3年度九州大学危機管理 e-learning」を選択してください。

(3) まず、「教材(PDF形式)」のスライドを確認し、「確認テスト(7問)」を実施してください。

(4) 「確認テスト(7問)」に全問正解すると受講完了となります。